くまがや 市議会だより

6月定例会

令和7年 8月1日発行

第80号

主な内容

☆令和7年第2回定例会の概要、
　審議結果等・・・・・・・・・・・・・P2～4
☆市政、ここが知りたい！
　一般質問（要旨）等・・・・・・・・P5～11
☆国に意見書を提出しました・・ P12
☆委員会での主な質疑 ・・・・・・P12～15
☆永年勤続議員表彰 ・・・・・・・・ P15
☆次回定例会（予定）等・・・・・・P16

お問い合わせ　熊谷市議会事務局 TEL048-524-1573

議会インターネット中継は熊谷市議会ホームページから　熊谷市議会　検索

令和７年第２回

定例会

会期：6月5日から6月25日の21日間

- 令和7年度一般会計補正予算などの市長提出議案23件を可決、5件を承認、人事案件3件に同意、請願2件を趣旨採択
- 委員会提出議案1件を可決

小鮒賢二議長(左)、川田勝巳副議長(右)

正副議長を選出

6月5日(初日)の本会議では、小島正泰議長、田中正副議長の辞職に伴い、正副議長選挙を行いました。

この結果、小鮒賢二議員が議長に、川田勝巳議員が副議長に当選しました。

選挙の詳しい結果は、次のとおりです。

◇議長選挙(投票総数30票)

小鮒　賢二・・・17票

新島　一英・・・13票

◇副議長選挙(投票総数30票)

川田　勝巳・・・17票

新島　一英・・・13票

小鮒賢二議長あいさつ

第22代熊谷市議会議長に就任いたしました小鮒賢二です。二元代表制の一翼を担う市議会の議長として、直面する課題、施策の方向性を迅速かつ的確にお伝えし、市民の皆様の声に耳を傾け、常に市民福祉の向上・安心安全を念頭に活発な議論を行ってまいります。

また、予想を超える勢いで進行する少子化への対策、子育て支援・高齢者福祉、加えて更新時期を迎えるインフラ整備等、直面する課題は山積しております。これらの課題を常に念頭に置き、透明性の高い、開かれた議会を目指します。

市民の皆様には、議会に対する関心を深め、率直なご意見・ご提言を賜り、県北の中心都市として誇れる熊谷となりますようお願い申し上げ、就任のあいさつといたします。

議会運営委員会および各常任委員会の委員を選出、正副委員長を互選

(◎委員長、○副委員長)

議会運営委員会

◎富岡　信吾　○桜井くるみ　腰塚菜穂子　白根　佳典
福田　勝美　黒澤三千夫　江田　大助

市民福祉常任委員会

小島　正泰　田中　正　◎臼杵　健　○田中　正
小林　國章　池井　光吉　福田　勝美　三浦　和一
田中　純一　小林　拓朗　桜井くるみ　権田　清志

総務文教常任委員会

◎大山美智子　○池井　光吉　千葉　義浩　出井　哲司
黒澤三千夫　小島　正泰

都市建設常任委員会

影山　琢也　沼上　政幸　◎石川　広己　○林　幸子
小林　國章　富岡　信吾　山下　一男

環境産業常任委員会

◎田中　純一　○小林　拓朗　新島　一英　中島　千尋
大久保照夫　須永　宣延　川田　勝巳

監査委員の選任に同意

6月25日(最終日)、議会選出の監査委員に腰塚菜穂子議員を選出したい旨の議案が市長から提出され、これに同意しました。

大里広域市町村圏組合議会議員の補欠選挙を実施

6月25日(最終日)、小島正泰議員、千葉義浩議員および田中純一議員が大里広域市町村圏組合議会議員に選出されました。

市長の提案理由（一部抜粋）

■一般会計補正予算は、年度開始後間もないため、国の予算執行に伴うものなど早急な対応が必要となった事業について計上したものである。

歳出では、**民生費**において、養育環境等に課題を抱え、家庭や学校に居場所のない児童等に対して、安全で安心できる居場所を提供し、生活習慣の形成や学習支援、食事の提供などの包括的な支援を行うことで、子どもの健全な育成を図っていくものである。また、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、民間保育所等に対して、物価高騰に伴う運営費の負担増加に対する支援として、光熱費及び食材料費の一部について、県の補助金に市単独の補助金を上乗せして補助することにより、保育所等の安定的な運営と保育の質の維持を図っていくものである。

教育費では、夏の暑さから子どもたちを守り、児童・生徒の教育環境を充実させるとともに、災害時の避難所の環境改善を図るため、小・中学校の体育館に、順次、空調を整備するための実施設計を行っていくものである。

歳入では、今回の補正予算の財源として、国・県支出金などの特定財源のほか、前年度繰越金を充てるものである。

■一般議案では、すべての子育て世帯に対する支援を強化するため、保護者の就労要件を問わずに利用できる新たな通園制度である乳児等通園支援事業を実施するための「熊谷市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」などを提案する。

6月定例会の概要

開会等

6月5日　本会議（開会）

- 会議録署名議員の指名
- 会期の決定
- 報告事項
- 市長の提案理由の説明
- 全議案の上程
- 議案説明

6月10日　本会議

- 初日上程の議案に対する質疑～委員会付託
- 追加議案の上程～委員会付託
- 請願の上程～委員会付託

常任委員会

6月11日　総務文教常任委員会・環境産業常任委員会
6月12日　市民福祉常任委員会・都市建設常任委員会

- 付託された議案について審査（質疑～討論～採決）

一般質問

6月17日・18日・19日

- 17人の議員による一般質問（5ページ参照）

閉会

6月25日

- 各委員長報告～質疑～討論～採決
- 委員会提出議案の上程～質疑～討論～採決
- 追加議案の上程～質疑～討論～採決

令和7年 第2回定例会 審議結果

◎全議員が賛成した議案

◆市長提出議案（30件）

議案番号	議　案　件　名	審議結果
議案第38号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度熊谷市一般会計補正予算（第8号））	承認
議案第39号	専決処分の承認を求めることについて（令和6年度熊谷市熊谷都市計画事業土地区画整理事業特別会計補正予算（第2号））	承認
議案第40号	専決処分の承認を求めることについて（熊谷市税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第41号	専決処分の承認を求めることについて（熊谷市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第42号	専決処分の承認を求めることについて（熊谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
議案第43号	令和7年度熊谷市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第44号	令和7年度熊谷市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第45号	熊谷市情報公開条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第46号	熊谷市税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第47号	熊谷市遺児手当支給条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第48号	熊谷市土砂等のたい積の規制に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第49号	熊谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第50号	熊谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第51号	熊谷市個人情報の保護に関する法律施行条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第53号	工事請負契約の締結について（熊谷市立熊谷東小学校教室棟改修建築工事）	原案可決
議案第54号	工事請負契約の締結について（熊谷市立荒川中学校教室棟改修建築工事）	原案可決
議案第55号	工事請負契約の締結について（熊谷市立佐谷田小学校教室棟改修建築工事（1期））	原案可決
議案第56号	工事請負契約の締結についての変更について（熊谷市子育て支援・保健拠点施設整備事業建設工事）	原案可決
議案第57号	工事請負契約の締結についての変更について（旧妻沼清掃センター解体工事）	原案可決
議案第58号	工事請負契約の締結についての変更について（熊谷市立勤労会館等解体工事）	原案可決
議案第59号	財産の取得について（災害対応特殊救急自動車）	原案可決
議案第60号	財産の取得について（高度救命処置用資機材等）	原案可決
議案第61号	事業契約の締結について（（仮称）道の駅「くまがや」整備事業（その2））	原案可決
議案第62号	令和7年度熊谷市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第63号	熊谷市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第64号	熊谷市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第65号	熊谷市の議会の議員及び長の選挙におけるビラの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第66号	熊谷市監査委員の選任について（腰塚菜穂子氏）	同意
議案第67号	熊谷市固定資産評価員の選任について（齊藤慶章氏）	同意
議案第68号	人権擁護委員候補者の推薦について（井田邦男氏）	同意

◆請願（1件）

議案番号	議　案　件　名	審議結果
請願第11号	国に対し、「安全・安心の医療・介護の実現のため人材確保と処遇改善を求める意見書」の提出を求める請願	趣旨採択

◆委員会提出議案（1件）

議案番号	議　案　件　名	審議結果
委員会提出議案第1号	安全・安心な医療・介護の実現のための人材確保と処遇改善を求める意見書	原案可決

◎賛否が分かれた議案　◆市長提出議案（1件）

○：賛成　×：反対

議案番号	議　案　件　名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
			小林拓朗	田中純一	江田大助	臼杵健	池井光吉	川田勝巳	出井哲司	小林國章	白根佳典	中島千尋	沼上政幸	新島一英	田中正	山下一男	影山琢也	千葉義浩	腰塚菜穂子	小島正泰	権田清志	石川広己	小鮒賢二	林幸子	黒澤三千夫	須永宣延	桜井くるみ	三浦和一	大山美智子	富岡信吾	福田勝美	大久保照夫
		審議結果	表決																				※									
議案第52号	熊谷市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	×	○	×	○	○	○

◆請願（1件）

議案番号	議　案　件　名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
請願第10号	熊谷市家庭系ごみ削減目標の見直しとごみ排出量削減に向けた市民・事業者・行政の協働推進に関する請願	趣旨採択	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○	×	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※議長は表決に加わりません。

市政、ここが知りたい！

一般質問（要旨）

一般質問は、定例会で議員が議案に関係なく市政全般にわたる市の方針等について質問し説明を求めるものです。
6月定例会では、17人の議員により行われました。

6月17日

通告順1番　大久保　照夫 議員　6p
1　熊谷市の課題等の現状認識と熊谷市の主要施策の進捗状況について
2　県道青山熊谷線バイパス整備事業の進捗状況について

通告順2番　三浦　和一 議員　6p
1　SAITAMA 出会いサポートセンター「恋たま」の活用について
2　「プレコンセプションケア」について
3　リチウムイオン電池の廃棄について

通告順3番　腰塚　菜穂子 議員　6p
1　グリーンインフラの推進で呼び込む
―都市緑化で高めるまちの価値―
2　孤独・孤立の問題にどう向き合うか
―つながり支え合う地域づくり―

通告順4番　林　幸子 議員　7p
1　循環型社会の実現に向けて
―一般廃棄物の資源化等について考える―

通告順5番　石川　広己 議員　7p
1　新教育長の教育行政について
2　ごみ出しの現状と課題、その対策について

通告順6番　小林　國章 議員　7p
1　年代八ツ口線の整備計画について

6月18日

通告順7番　江田　大助 議員　8p
1　単身高齢者における「終活」支援について

通告順8番　池井　光吉 議員　8p
1　社会福祉制度の利用状況について
2　買い物支援の更なる充実を

通告順9番　白根　佳典 議員　8p
1　新市庁舎整備について

通告順10番　黒澤　三千夫 議員　9p
1　道路行政について

通告順11番　影山　琢也 議員　9p
1　新たな時代における学校環境について
―保護者の観点から考える―

通告順12番　臼杵　健 議員　9p
1　スポーツを生かしたまちづくりについて
2　若者が帰ってくる・育つまちへ
―ユースセンターと新幹線通学支援で広げる地域参画―
3　ごみ削減の取組状況について
4　市の業務の AI 導入状況について
5　ACP(人生会議) の推進状況について

6月19日

通告順13番　桜井　くるみ 議員　10p
1　安心して医療が受けられるように
2　障害児（者）生活サポート事業を使いやすく
3　鳥獣被害を防ぐために　その2

通告順14番　大山　美智子 議員　10p
1　大里広域市町村圏組合2事業の今後の見通しについて
2　小・中学校や市役所等公共施設の個室トイレに生理用ナプキンの設置を
3　保育所等における ICT 導入に伴う課題と保育環境を充実させる取組について

通告順15番　小林　拓朗 議員　10p
1　続・食によるまちおこしについて
―珈琲とスイーツの食文化を市民が誇る名物に―
2　続・荒川公園周辺再整備計画（案）について
―初質問から2年経過した現状の確認を―

通告順16番　中島　千尋 議員　11p
1　健康寿命を延ばすまちづくり

通告順17番　山下　一男 議員　11p
1　複雑多様化する消防需要に広域的に対応するために新たに熊谷市が埼玉北部の中心になり消防共同指令センターを立ち上げる考えはないか

リチウムイオン電池の廃棄について

三浦和一（みうらかずいち）議員
（公明党）

質問動画が見られます

問　ごみ回収に関係する火災事故の発生件数とその原因について。

答　令和４年度から６年度の３年間で、熊谷衛生センター、江南清掃センター、大里広域クリーンセンターおよび収集車両の火災の発生は 22 件あり、うち２件がガスボンベ缶、５件がリチウムイオン電池によるもので、その他は特定されていない。

問　リチウムイオン電池の回収方法の現状と実施に至る経緯について。

答　市では、一般社団法人ＪＢＲＣに処理を委託し、現在、環境美化センター、大里行政センター、妻沼行政センター、環境推進課の４か所で拠点回収を実施しており、受入可能なリチウムイオン電池が限られていることや、火災等の発生防止のため、対面による回収を行っている。経緯については、リチウムイオン電池等を原因とした火災等の抑止のため、令和４年度から開始した。

問　ＪＢＲＣで回収できないリチウムイオン電池とは。また、それらに対する市の対応方法について。

答　ＪＢＲＣで処理できないものは、リサイクルマークのないもの、破損、水漏れおよび膨張等の異常が見られるものが該当し、それらについては、現在、市では回収を行っていない。

問　環境省の求めるリチウムイオン電池の廃棄、回収に必要なことについて。

答　最も配慮すべき点は発火等への備えであり、風雨の影響を受けない屋内に耐火性の回収容器を設置するなどの対応が必要になる。また、市民の利便性を考慮し、回収場所や回収方法等についても慎重な検討が必要である。

（環境推進課）

熊谷市の課題等の現状認識と熊谷市の主要施策の進捗状況について

大久保照夫（おおくぼてるお）議員
（令新クラブ・自民）

質問動画が見られます

問　これまでの主な施策の進捗状況や課題意識、さらに市政の継続性に対する考えについて。

答　市長就任以来、「新熊谷プライドの創造」を政策理念とし、７つの基本政策を掲げ、市民の皆様が、笑顔で、誇れるまち熊谷の実現に向けて、本市が持つ実力や魅力を引き出すための取り組みを進めてきた。

「熊谷渋川連絡道路」については、就任以来の積極的な要望活動が実を結び、新たに重要物流道路にも指定されたほか、本市はもとより、県北地域や群馬県東毛地域、栃木県南部地域の発展へとつながる「利根川新橋」についても、建設に向けて、埼玉・群馬両県が予備設計に着手するなど、着実に事業が進捗しているところである。さらに、県の産業振興機能と市の庁舎機能を併せ持った、北部地域振興交流拠点の整備についても、スピード感を持って取り組んでいる。この３年半で、政策理念とともに掲げた基本政策の大半を実施、あるいは着手できたと考えており、笑顔とスピードをモットーに、夢をカタチにするために常にスピード感を持って行動してきた。これまでに取り組んできた政策の多くは、今、ようやく芽吹き始めたところである。その芽を確かな実りへと育て上げるには、政策の一貫性と継続性、そして、強い覚悟が必要であると考えている。

変化の激しい、難しい時期だからこそ、これまでの経験を最大限に生かし、多様な御意見を丁寧に伺い、そして、国、県、近隣自治体との連携を図りながら、情熱と誠意を持って、引き続き、愛する熊谷の市政運営のかじ取りを担わせていただきたいと考えている。

（政策調査課）

グリーンインフラの推進で呼び込む一都市緑化で高めるまちの価値一

腰塚菜穂子（こしづかなほこ）議員
（民主くまがや）

質問動画が見られます

問　グリーンインフラの推進について、GIS データや３D都市モデルなど、各種データを活用した産学官民連携による可能性についての見解は。

答　３D都市モデルは、都市空間を立体的に認識できることから、イメージを視覚的に共有しやすいという特徴がある。今後、オープンデータとして提供することで、グリーンインフラの推進をはじめとしたさまざまな施策検討の基盤として充実を図り、産学官民連携によるまちづくりを推進していく。

問　緑化推進には、落ち葉に関する苦情がつきものである。そこで落ち葉管理について、市民協働で行うことや「クマポ」付与の可能性についてどのように考えるか。

答　国の検討会の議論の中で、ＮＰＯや民間事業者等の新しい要素と、地域住民や行政等の旧来からの要素の連携が示されている。今後、事例を研究し課題への対応につなげていきたい。また、「クマポ」付与の可能性については、公園等の清掃活動などには可能性がある。（都市計画課、公園緑地課）

孤独・孤立の問題にどう向き合うか一つながり支え合う地域づくり一

問　本市消防の救助出動の結果、自宅で死亡されていた方の統計数値は。

答　令和４年が 34 人、令和５年が 26 人、令和６年が 29 人である。

問　孤独・孤立対策の一環として国が推奨する「つながりサポーター」養成の検討状況は。

答　今後、広く地域の関係機関や団体、さらには市民に向けて養成講座を実施するなど、普及・啓発に努めていく。（福祉総務課、警防課）

新 教育長の教育行政について

石川広己（いしかわひろみ）議員
（友和会）

質問動画が見られます

問　教育行政への抱負と決意について。

答　教育の目的は、人格の完成を目指すことにある。このことは、どんなに時代が変わっても普遍的なものである。子供たちには、人格の完成という教育の目的に向け、予測困難な時代に「生きる力」「生き抜く力」を身に着けさせなければならない。そのために、次の2つの力を育成したいと考えている。

1つは、「知・徳・体のバランスのとれた学力」である。学校の中心は、学校生活のうち、多くの時間を占める授業であり、授業の充実なくして、学力の向上はありえない。「授業は一期一会」という気持ちで1時間1時間の授業に全力であたり、子供たちの学力を伸ばし、魅力ある学校をつくっていきたい。

もう1つは、「自分の身を自分で守り、助け合うことのできる力」である。日常生活において、大地震、河川の氾濫による洪水、感染症の流行、不審者、交通事故等、いつどんな危険が迫ってくるか分からない環境でも、子供たちは自ら状況を確認し、判断し、行動に移し、自分の身を自分で守り、助け合うことのできる力を伸ばしていきたい。

問　特に重視する課題とその解決のための施策は。

答　教育を取り巻く環境は、不登校・いじめ問題の増加、保護者による虐待、DXへの対応等、多様化・複雑化していて、本市でも課題となっている。それらの課題の解決にあたり、変えてはいけないものはしっかりと堅持し、変えなければいけないものは勇気を持って思い切って変えていく、つまり「不易と流行とのバランス」をとって教育行政にあたっていきたい。また、学校と家庭と地域社会とが、それぞれの役割を果たすことを基盤として、熊谷教育の充実を図っていきたい。（学校教育課）

循 環型社会の実現に向けて ー一般廃棄物の資源化等について考えるー

林幸子（はやしさちこ）議員
（公明党）

質問動画が見られます

問　ごみの発生量と比較してリサイクル率が伸び悩んでいる要因は。

答　燃えるごみに含まれるリサイクル可能な品目の分別が十分に浸透していないことが主な要因と思われる。

問　燃えるごみの中で分類することで資源化できるものについて伺う。

答　主に紙類と生ごみが挙げられ、ごみの組成分析においても、燃えるごみに占める割合は紙類が約30%、生ごみは約25%である。

問　プラスチック使用製品等の分別収集の検討内容と進捗について伺う。

答　分別の細分化による新たな市民負担の増加も懸念されることから、慎重な検討が必要と考えており、また、分別収集に係る経費も収集運搬経費や中間処理委託料等で年間1億5千万円程度の負担増となる見込みであることから財政面での検討を進めている。

問　組成分析の結果について伺う。

答　紙類、生ごみ類のほか、合成樹脂等が25%、布類が10%、樹木等が10%となっており、その他、不燃物が若干含まれている。

問　燃えるごみに占める割合は紙類が約30%、生ごみは約25%とのことだが、仮にこれらがリサイクルされた場合、リサイクル率はどんな数値になるか。

答　令和5年度の実績において、燃えるごみとして回収された、すべての紙類と生ごみがリサイクルされた場合のリサイクル率は、約50%と推計される。

問　「雑がみ回収キャンペーン」について、事業を拡大する考えは。

答　キャンペーン開催回数等を拡大してまいりたい。

問　ペットボトルキャップ回収箇所を増やす考えは。

答　回収場所の拡大について、熊谷市社会福祉協議会と協議したいと考えている。（環境推進課）

年 代八ツ口線の整備計画について

小林國章（こばやしくにあき）議員
（令新クラブ・自民）

質問動画が見られます

問　計画策定の時期および目的は。

答　昭和39年に「駅東口線」および「駅西口弥藤吾線」として都市計画決定されたのち、東武鉄道熊谷線の廃線を機に、昭和60年に都市計画道路2路線を「年代八ツ口線」1路線として都市計画の変更を行っている。旧妻沼町を東西に結ぶ幹線道路としての役割を果たすと考える。

問　整備状況および未整備用地の用地買収状況について。

答　市道妻沼1363号線から都市計画道路「梶山・江波」線までの区間は、妻沼東土地区画整理事業で整備を行い、既に供用開始している。国道407号から市道妻沼1363号線までの区間は、平成3年度に事業着手し、平成12年度から用地買収を開始しており、未整備地の用地取得率は約69%となっている。

問　県道341号と国道407号の間の整備予定について。

答　現在のところ未定となっている。

問　県道341号より東側と県道341号から国道407号の間の整備予定の優先度は。

答　県道341号より東側は、現道を拡幅して整備を行うことから整備効果の発現が大きく、用地の取得率も高いため、こちら側を優先的に取り組んでいる。

問　県道341号から国道407号間の整備を優先することは可能か。

答　県道341号から東側の進捗がないことを考慮し、今後も県道341号と国道407号の間についても用地を取得していくことを考えていく。

平成3年度の事業着手より34年、用地買収開始より23年が経過するが事業の先が見えない。今後は県道341号から国道407号の間の整備に注力して、事業を行っていただくことを要望する。（道路課）

買い物支援の更なる充実を

池井光吉（いけい みつよし）議員
（公明党）

質問動画が見られます

全国買い物困難者に関する市町村アンケートの結果では、背景として住民の高齢化、地元小売業の廃業、既存商店街の衰退、単身世帯の増加等が上位であり、対策としても、移動販売、買い物代行、空き店舗等の常設店舗等があった。現在本市で行われている買い物支援の状況について、以下質問する。

問　主な移動販売の販売箇所数と利用人数について。

答　令和7年3月現在、主な移動販売事業者は、熊谷青果市場、カスミおよびウエルシア薬局があり、3者の合計で販売箇所数は108カ所、利用人数は約2,600人である。

問　軽度生活支援の登録者数と利用人数について。

答　軽度生活支援では登録者数は192人、利用人数は92人、そのうち買い物支援の利用人数は12人である。

問　くまがや在宅福祉家事援助サービスの利用人数について。

答　くまがや在宅福祉家事援助サービスの利用人数は5人、そのうち買い物支援の利用人数は1人である。

問　介護保険の生活援助、訪問介護相当サービスの利用人数について。

答　介護保険の生活援助の利用人数は、買い物その他の支援を含め758人、訪問介護相当サービスの利用人数は、身体介護等を含め322人となっている。

65歳を超え、介護認定等も受ける事により、買い物支援などのサービスは充実していくが、単身高齢者の方々への、予期せぬ事態へのセーフティネットとして、高崎市が行っている「高齢者世帯買い物SOSサービス」導入の検討をお願いしたい。

（長寿いきがい課）

単身高齢者における「終活」支援について

江田大助（えだ だいすけ）議員
（公明党）

質問動画が見られます

近年、高齢者の世帯の状況を見ると単独世帯が増加しており、2022年には高齢者のみの世帯が1,020万7,000世帯で、そのうち単身高齢者の世帯は501万8,000世帯となっている。そうした中、引き取り手のない遺骨の増加や死後における手続きの複雑化による費用負担や職員の事務負担の増加があり、その必要性からか国は、身寄りのない高齢者等が抱える生活上の課題に対応するためのモデル事業を全国9カ所の自治体で実施している。今後、全国の自治体においても「終活」支援に関する事業は拡大していくものと考え、以下質問する。

問　身寄りのない高齢者が増えていく時代の中、自治体が行う「終活」支援事業についての認識を伺う。

答　高齢者の割合が大きくなる中で、地域社会の持続可能性を高め、市民一人一人が最後まで自分らしく生きられるよう支える重要な事業であると認識している。

問　本市の65歳以上の単身高齢者および単身高齢者台帳登録者の人数を伺う。

答　令和6年度末で、65歳以上の単身高齢者は15,702人、うち台帳登録者は2,090人である。

問　「終活」支援に関連する市民からの相談等はあるか。

答　「終活」支援に関する直接的な相談はないが、身体機能や認知機能の低下に伴う生活上の異変への対応や支援などについて、地域包括支援センターをはじめ、警察や民生委員、児童委員などからの相談が、令和6年度には約400件あった。

単身高齢者が増加していく時代にあって、「終活」支援事業が本市においても事業実施が検討され、事業化されることを強く要望する。

（長寿いきがい課）

新市庁舎整備について

白根佳典（しらね よしのり）議員
（日本共産党）

質問動画が見られます

問　コミュニティひろばの活用は長年の検討事項であり、方向性が見いだせない状況が続いてきた。過去の中心市街地活性化基本計画は、コミュニティひろばの活用がメインとも言える計画だったと記憶しているが、コミュニティひろばの利活用の検討経過について伺う。

答　昭和60年に（仮称）テクノグリーンセンターの建設用地として、埼玉県と本市が協力して取得し、平成12年策定の中心市街地活性化基本計画にもテクノグリーンセンター整備事業が掲載された。平成24年度から令和3年度までの中心市街地活性化基本計画では東西の商業核の中間にある第3の中心核として位置付け、広域拠点都市くまがやの中核機能を担うための業務環境の形成を目指すこととした。

問　埼玉県の5か年計画から、北部地域振興交流拠点の整備検討の項目が削除され、（仮称）第1中央生涯活動センターの市役所西側駐車場での整備が決まりかけていたと記憶しているが、同センターの整備検討経過等および推進できなかった理由について伺う。

答　平成24年当時、市と県の共同事業としての北部地域振興交流拠点の検討段階で、中央公民館等の機能集約を想定していたが、県の5か年計画から関連の記載が削除されたことを受け、改めて市独自事業として、（仮称）第1中央生涯活動センターの整備を検討することとした。同センターは、市役所西側駐車場の一部に整備する方針だったが、令和4年度からの県5か年計画に北部地域振興交流拠点の検討推進が盛り込まれたことから、同センターの構想を改めて検討することとしたが、候補地の選定には至っていない。

（商業観光課、中央公民館）

新たな時代における学校環境について ―保護者の観点から考える―

影山琢也（かげやまたくや）議員
（熊谷清風会・維新）

質問動画が見られます

子どもを取り巻く環境が変わり、多くの課題がある中で現在の教育施策をひもとくとともに、新たな教育長が就任し、どのようなかじ取りを行うのか、保護者の観点から確認していく。

問　学習・生活への取り組み状況とその課題は。また、学校施設について、老朽化対策等の進捗を伺う。

答　GIGA スクール構想では、一人1台端末、ＩＣＴ機器の活用により、これまで以上に個に応じた学びや、一人一人の考えを全体で共有し、比較検討する授業ができるようになった。新くまなびスクールでは、今年度から全小・中学校に 194 人の支援員を配置。教室での授業の補助や放課後の学習支援、不登校傾向にある児童・生徒の学習支援を行っている。学校施設については、現在、老朽化対策として小学校 65 棟中 17 棟、中学校 40 棟中 9 棟で校舎大規模改修を実施。毎年３棟程度工事をした場合 20 年後には全ての工事が完了する見込み。

問　ラウンドシステムについては成果が上がっているとのことだが、どう考えるか。

答　引き続きラウンドシステムにより児童・生徒一人一人の習熟度に応じたきめ細かな指導・支援を行う。

問　「４つの実践と３減運動」について時代に即した活動にしていくべきだという考えがあるがどうか。

答　学力の基盤となる基本的な生活習慣を養うものであり、これまでも、時代の変化に合わせて内容や言葉の見直しを図っている。

問　２学期制は様々な課題があると感じるがどうか。

答　２学期制の下で、子ども達一人一人の学習の様子を家庭に早く知らせることなどで、学力向上に成果を上げている。２学期制の成果と課題については今後も確認していく。（教育総務課、学校教育課）

道路行政について

黒澤三千夫（くろさわみちお）議員
（民主くまがや）

質問動画が見られます

近年、維持補修費が増加し、道路インフラの老朽化対策に力を入れざるを得ないタイミングで、星川シンボルロードにおいて、レンガ調の型押しアスファルト舗装が採用された。このような事業を、評価し、検証し、水平展開し、新たな工法を積極的に取り入れることも大切な道路行政と考え、以下質問する。

問　星川シンボルロード舗装美装化工事の評価と今後の展望について伺う。

答　星川シンボルロード舗装美装化工事は、レンガ調の型押しアスファルトによる舗装工事で、工事費がレンガ舗装の約３分の1と安価であり、大幅な工期短縮も図れることから、令和５年度、６年度の２カ年で実施したものである。まちなかの景観を重視し、道路の美装化が求められる場合や既存の平板やインターロッキングブロック舗装を更新する場合などは、がたつき、ずれ等の心配もなく、平坦性、安全性が図れる工法として有効と考えている。

問　星川シンボルロードの美装化工事について、他の工法との比較があれば伺いたい。

答　レンガ舗装の更新のため、経済性、施工性のほか、試験施工を行い、うちわ祭の際の山車の走行における耐久性も検証した上で採用し、当時はこれと同等の工法はなかった。

本市の道路行政は、単なるインフラ整備にとどまらず、「安全性・経済性・環境・利便性・持続可能性」を総合的に考慮する必要があり、多様な主体として、国・自治体・民間企業・住民との連携がますます重要になると言われている。本市の道路行政が円滑に進められるようお願いしたい。

（維持課）

若者が帰ってくる・育つまちへ ―ユースセンターと新幹線通学支援で広げる地域参画―

臼杵健（うすきたけし）議員
（えだまめ）

質問動画が見られます

問　ユースセンターの全国的な事例について、市の認識を伺う。

答　家庭や学校と異なる主に中高生を対象とした第３の居場所になるものと認識している。

問　本市における若者の活動拠点や相談・交流の場について伺う。

答　現在、熊谷市子育て支援・保健拠点施設（くまキッズ）の整備を進めているが、同施設内の（仮称）こどもセンターは、主に中高生の利用を想定した音楽室や自習室を備え、活動拠点、相談・交流の場の一つになることを期待している。

問　運営において、若者の共同運営への参画や意見の反映等の仕組みを保障する方針はあるか伺いたい。

答　運営体制において、若者の参画を保障する明確な方針は定めていないが、こどもセンターの管理運営を行う事業者の自主事業において、若者の参画を含めた事業の実施について協議していきたい。

問　転入超過の結果について、市の施策の効果は日本人若年層のみを指標とした場合でも確認できるのか。

答　日本人のみを指標とした場合については、直近５年で転出超過が続いている状況だが、本市の若年層に係る各種支援については、国籍を問わずその対象としている。これらの施策の実施が少なからず市全体の転入者の増加や転出抑制につながっていることから、事業を継続していきたい。

問　交付金の活用による小規模実証という形で新幹線通学支援を行うことについて、市の見解を伺う。

答　現在国などの交付金で、新幹線通学支援に充当できるものはないと認識している。そのため、事業実施に当たっては、費用対効果等も踏まえ検討していく必要があることから、慎重に判断していきたい。

（企画課、こども課）

大里広域市町村圏組合２事業の今後の見通しについて

大山美智子（おおやまみちこ）議員
（日本共産党）

質問動画が見られます

ごみと介護保険の２事業を熊谷市・深谷市・寄居町で行う大里広域市町村圏組合は創立から 52 年が過ぎたが、解散に関する基本協定書が本年２月に締結されたため、以下質問する。

問　解散の経緯と基本協定書の内容について。

答　ごみ焼却施設の建設に関する方向性が異なったことを発端に、今後の運営について協議を重ねた結果、「熊谷市　深谷市　寄居町　大里広域市町村圏組合の解散に関する基本協定書」が締結され、円満かつ発展的に組合が解散されることになった。「新ごみ焼却施設の建設に関すること」は本年４月１日、「現行のごみ焼却施設及び不燃物処理場の管理運営に関すること」は、令和 14 年４月１日、「介護保険に関すること」は、令和 12 年４月１日に市へ承継されることになった。

問　現在どのような話し合いが進められているか。特にごみ事業は、地元への説明会を早めに開催することが求められるが、今後の見通しと住民説明会の開催について。

答　ごみ処理事業は熊谷衛生センターと江南清掃センターを統合した、熊谷市単独の新ごみ焼却施設の建設に向けて、環境推進課で施設規模の再検討等を進めている。施設規模および環境アセスメント調査結果等がまとまり次第、住民説明会を開催し、地元住民の理解を得ながら、令和 10 年度の着工、14 年度の稼働を目指している。

問　住民説明会の開催はいつ頃か。また、説明内容に、アクアピアや一体的に進めるとしていた別府沼公園の整備も含まれる計画となっているかについて。

答　令和８年２月頃を予定している。開催時期までに含めることは難しいと考える。（環境推進課）

障害児（者）生活サポート事業を使いやすく

桜井（さくらい）くるみ議員
（日本共産党）

質問動画が見られます

障害児（者）生活サポート事業は、預かり、介護や介護の補助、移送サービス、外出支援、宿泊の５つのサービスがあり、年間 150 時間までの利用が可能である。

問　登録者数は。

答　18 歳以上 1,324 人、18 歳未満 68 人である。

問　利用状況は。

答　令和６年度では、身体障害 24,882 時間、知的障害 1,889.5 時間、精神障害 531 時間。サービスごとでは全体の約９割が移送サービスの利用である。

問　移送サービスで「定期通院には利用できない」とあるが、その理由と「定期的」の範囲は。

答　通院時の支援としては、障害者自立支援給付事業における通院等介助などの利用が優先される。「定期的」とは慢性疾患等の治療のために、医師の指示に基づいて、決められた間隔で通院することと考えている。

問　これは埼玉県の基準か。定期的通院に使える自治体があるが。

答　当事業は県の事業実施要綱に基づくものだが、各市町村が独自に実施しているため、運用上、異なる場合がある。

移動支援の一番の目的は、「社会生活上必要不可欠な外出」を保障することにある。この中に「定期通院」を外すということはあってはならないと考える。自治体の判断に任されているならば、生活サポート事業の目的を見直して必要なサービスを受けられるようにしていただきたい。

併せて、利用料金は 18 歳未満の場合、世帯の所得に応じて決まっている。18 歳以上の利用料金についても検討をお願いしたい。（障害福祉課）

続・食によるまちおこしについて
―珈琲とスイーツの食文化を市民が誇る名物に―

小林拓朗（こばやしたくろう）議員
（創新みらい）

質問動画が見られます

問　晴れまちギフトとは何か。また、珈琲やスイーツは認定候補となるか。

答　熊谷ブランド「晴れまち」は、本市産品の魅力を広く伝えるための地域ブランドで、本年５月に熊谷ブランド推進協議会を立ち上げた。今後ブランド認定の公募と審査を行うが、「晴れまちギフト」は熊谷らしさが感じられるお土産品も対象になることから、珈琲やスイーツも認定候補になると考えられる。

問　晴れまち事業に、市内菓子業者や珈琲店等が参加したい場合はどうすればよいか。

答　今後「晴れまちギフト」等、候補商品の公募を実施する予定。

問　珈琲やスイーツを熊谷市の新たな名物とする見込みはあるか。

答　市内には人気のカフェや伝統菓子、絶品スイーツが数多くあるため、可能性は十分にある。また県内屈指の農産物の産地であるので、それらを材料とした製品が「晴れまちギフト」として、今後熊谷の名物になることも想定している。（商業観光課）

続・荒川公園周辺再整備基本計画（案）について
―初質問から２年経過した現状の確認を―

問　本計画（案）作成の今後のスケジュールは。

答　今年度は樹木診断等の各種調査のほか、市民や関係団体の声を伺うためのアンケート、ワークショップ等を実施するとともに、民間事業者へのヒアリングにより整備手法を検討する。令和８年度は、ワークショップや民間活力導入可能性調査等を実施し、有識者による協議会や住民説明会等を経て、基本計画を作成する予定。
（スポーツタウン推進課）

複 雑多様化する消防需要に広域的に対応するために新たに熊谷市が埼玉北部の中心になり消防共同指令センターを立ち上げる考えはないか

山下一男（やましたかずお）議員
（令新クラブ・自民）

質問動画が見られます

問　埼玉北部の中心になり、消防共同指令センターを立ち上げる考えはないか伺う。

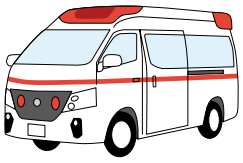
答　近年、国内外で大規模な地震や記録的な豪雨災害が頻発しており、本市においても、大規模な自然災害が想定されるとともに、過去最多を記録している救急需要は増加し続けていることから、消防救急活動体制の一層の充実強化は重要であると認識している。

中でも、災害時に 119 番通報を受け、災害種別を判断し消防隊、救急隊などに出動を指示する、災害対応の中枢となる消防指令センターを充実強化するため、県内に先駆け、平成 23 年 10 月から行田市との共同運用を開始している。

このような中、国においては、「市町村の消防の広域化に関する基本指針」を示すとともに、埼玉県では、「消防広域化推進計画」を策定し、指令センターの共同運用の必要性を位置付けており、その規模については、一般論としては、規模が大きいほどメリットも大きいことから、近隣消防本部との共同運用の広がりは必要なものと考えている。

こうしたことから、本市が埼玉県北部の中心となり消防共同指令センターを立ち上げることについては、近隣消防本部それぞれがメリットとデメリットをしっかりと見極め、合意する必要があることから、引き続き意見交換等を通して、適時適切に判断していきたい。

消防力を強化するために、埼玉北部消防共同指令センターの設立に向けて検討を始めてくれるよう要望する。



（指令課）

健 康寿命を延ばすまちづくり

中島千尋（なかじまちひろ）議員
（創新みらい）

質問動画が見られます

都市計画の視点から、公園の利活用やウォーキングコースの整備、公共施設との連携などを推進し、気軽に歩くことができ、外出が楽しくなるような「ウォーカブルなまち」にしていきたいと考え、以下質問する。

問　各自治会と協働し、地域の生活道路や歴史にちなんだ道をウォーキングルートとして整備、誘導する取り組みついての考えを伺いたい。

答　おすすめのコースを市内に 13 コース設定し、市ホームページで紹介している。

問　健康と暮らしを一体で考える「スマートウェルネスシティ」の視点を都市計画に活用する事について、市の見解は。

答　「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを推進し、高齢者にとっては自然と外出して、まちを歩くようになるなど健康な生活を送れ、社会的にも隔離されない状況となること、また、子育て世帯にとっては、子育て施設が身近にあるなど安心して子供を産み育てることができる環境となると考える。

問　近年、健康づくりにおけるデジタルの活用が多岐にわたり展開されている。そうした中で、各自治体で独自の健康アプリを運用し、歩数記録や健診結果の確認、ポイント付与、生活習慣のアドバイス配信などを通して市民の健康意識や行動変容を促す取り組みが進められているが、市独自のアプリの導入について、メリットとデメリットをどのように考えるか伺いたい。

答　健康に関するデータを記録・分析し、生活習慣の改善につながるため、健康管理・増進に効果的と考えるが、初期費用と運用コストの負担が大きいと考える。

（スポーツタウン推進課、健康づくり課、都市計画課）

メール配信サービス
「メルくま」で議会情報を発信しています！

1　**登録が必要です。**
（右の二次元コードから登録ページにアクセス）
配信内容「くらしの情報」を選択。

2　**（1）議会（定例会）の日程**
（2）一般質問を行う
①議員名、②質問項目について
・定例会初日の前日
・各一般質問日の前日
にメールが届きます。

定例会初日の前日に審議日程をお知らせするほか、各一般質問日の前日に、質問を行う議員名とその項目をメール配信しています（カテゴリ「くらしの情報」）。

ご利用には、利用登録が必要となります。「熊谷市ホームページ」からお手続きいただけます。上記 QR コードからもアクセスできます。

国に意見書を提出しました

安全・安心な医療・介護の実現のための人材確保と処遇改善を求める意見書

我が国の医療及び介護の現場は、医師や看護師等の医療従事者、介護職員の長時間労働などにより支えられてきた面がある。

また、医療及び介護に対するニーズの変化や高度化に加え、少子高齢化に伴う担い手の不足が大きな課題となっている。

さらに、瞬く間に全世界に拡大した新型コロナウイルス感染症では、保健所、医療機関、介護施設等の平時の職員体制では、対応ができないことが明らかになった。

国では、医師の働き方改革、看護師の人材確保、さらには、介護職員の処遇改善への支援など、様々な施策を講じているが、人手不足を補うだけの労働力の確保や処遇改善などには、いまだ不十分な状況にある。

国においては、これらの取組をさらに強力に推進するとともに、今後の医療及び介護サービスの提供体制を再構築するため、さらなる労働環境の整備や処遇改善を図るとともに、新興感染症の発生・蔓延などの健康危機に備えるために、保健所の強化はもとより、地域医療の中核を担う病院等医療機関などの連携や機能強化をより一層充実させることが重要である。

以上の趣旨から、国においては、下記の事項を実施するよう要望する。

記

1　安全・安心な医療及び介護を実現するため、医療従事者及び介護職員の人材不足解消へのさらなる支援を講じること。
2　医療従事者及び介護職員の労働環境や処遇改善への支援を行うこと。
3　新興感染症に対応できる体制整備のため、保健所、医療機関、介護施設等への支援を強化すること。

以上、地方自治法第９９条の規定により意見書を提出する。

令和7年6月25日

熊谷市議会

衆議院議長 様、参議院議長 様、内閣総理大臣 様、財務大臣 様 、厚生労働大臣 様

環境産業 常任委員会

委員長
田中　純一
副委員長
小林　拓朗
委員
大久保照夫
須永　宣延
腰塚菜穂子
白根　佳典
江田　大助

熊谷市土砂等のたい積の規制に関する条例の一部を改正する条例について

問 「盛土規制法」の改正により、土砂堆積等の工事に係る許可制度等が新設されたことにより、重複することとなった土砂の堆積規制に係る規定を削除することで、今までその規制がかかっていた部分が緩んでしまう懸念がないのか伺いたい。

答 条例で規制されていた部分については、ほぼ全て法律に移行されるので規制の漏れが出ることはなく、罰則も強化されるので、より抑止効果が強くなるものと考える。

（環境推進課）

熊谷市家庭系ごみ削減目標の見直しとごみ排出量削減に向けた市民・事業者・行政の協働推進に関する請願について

【質疑】

問 紹介議員に課題の認識について伺いたい。

答 将来世代が気候変動による多くの弊害を受けることになってくる。熊谷市はゼロカーボンシティ宣言をしていることに加え、日本一暑いまちであるからこそ地球温暖化対策については率先して取り組むべき自治体であり、それを実現していく一つの方法として、ごみの削減がある。

（紹介議員）

問 気候変動等への対策として、ごみの減量は必要なことだと思うが、既存の審議会等において、その辺りの課題の共有やごみを削減するための本質的な実効性ある議論はなされているのか伺いたい。

答 市では、熊谷市一般廃棄物処理基本計画を策定しており、これを熊谷市環境審議会に諮問し答申を頂いている。その中で、雑がみをはじめとした資源化可能な廃棄物の分別について周知を徹底されたいという意見を頂いている。

（環境推進課）

【意見】

さまざまな意見が出たが、この請願趣旨に関しては非常に大切な課題であり、それに伴う内容だと認識している。そうした中で、請願事項について、賛成討論、反対討論がある中で、どちらともとれないということで、趣旨採択を提案させていただきたい。

総務文教 常任委員会

委員長
大山美智子
副委員長
池井　光吉
委員
黒澤三千夫
小島　正泰
影山　琢也
沼上　政幸
小林　國章

熊谷市税条例の一部を改正する条例について

問 特定親族特別控除の新設により対象となる世帯数および税収の見込額、たばこ税の課税強化による増収分の見込額について伺いたい。

答 世帯数は約270世帯、約790万円の税収減となる見込みであり、また、たばこ税の課税強化により約1520万円の税収増が見込まれる。
（市民税課）

工事請負契約の締結について（熊谷市立熊谷東小学校教室棟改修建築工事）

問 工事内容にインターネット環境の整備は含まれているのか伺いたい。

答 今回の工事は、建物の延命を目的とした長寿命化工事であり、躯体の劣化対策としてコンクリートの中性化対策、鉄筋の腐食対策等を行うが、新たにインターネット環境を整備する工事は含まれていない。

工事請負契約の締結について（熊谷市立荒川中学校教室棟改修建築工事）

問 工事概要に「その他」との記載があるが、その内容について伺いたい。

答 屋上の防水改修工事、外壁の中性化を抑制し再塗装する工事、既存仕上げ材の撤去処分を行う取り壊し工事、棚や黒板などを設置する仕上げユニット工事、建材に使用されているアスベストの除去を行う環境配慮工事等である。

工事請負契約の締結について（熊谷市立佐谷田小学校教室棟改修建築工事（1期））

問 何期にわたる工事となるのか。また、工期を分ける理由を伺いたい。

答 佐谷田小学校は1棟建ての校舎であり、各階の引越し等が複雑な工事になるため、今年度と来年度の2期に分けて工事を進める予定である。
（教育総務課）

財産の取得について（災害対応特殊救急自動車）

問 今回、老朽化による更新ということであるが、計画的に更新を行っているのか伺いたい。

答 救急自動車は熊谷市消防本部車両更新計画に基づき、8年の経過または15万キロメートルの走行を目安に更新を図っている。

財産の取得について（高度救命処置用資機材等）

問 高度救命処置用資機材等には、どういったものがあるのか伺いたい。

答 血中酸素飽和度や心電図の測定器具、除細動器、気道確保資機材、輸液用資機材などを含み、自動心臓マッサージ機や人工呼吸器などの大がかりなものから、はさみや検眼ライトのような小物までさまざまなものを備えている。
（警防課）

令和7年度熊谷市一般会計補正予算（教育費）について

問 小学校および中学校体育館空調設備整備事業について、災害時に電力供給が途絶えることを想定しているか伺いたい。

答 空調への電力供給が途絶えることも想定し、ガスヒートポンプ方式の学校については停電時自立型電源を備えたシステムを、電気ヒートポンプ方式の学校については停電時にも電源を確保できるよう仮設発電機の接続盤を設置するなど非常時に備えた環境を整備してまいりたい。

問 同事業について、学校施設開放事業で体育館を使用する際の空調の利用方法に関して詳細は決まっているのか伺いたい。

答 運用方法については学校と調整を行い、設置後の検証等も踏まえて検討してまいりたい。
（教育総務課）

問 部活動地域連携事業について、当初予算で計上されている講師等謝金と、今回補正予算に計上されている部活動地域連携に向けた実証事業の予算は、それぞれ別の取り組みに対するものなのか伺いたい。

答 当初予算で計上した講師等謝金は従前から行われている部活動外部指導者への謝金であり、今回の補正予算に計上しているものは、県から委託を受けた運動部活動の地域移行に関する実証事業の指導者への謝金である。
（学校教育課）

市民福祉 常任委員会

委員長
臼杵　健
副委員長
田中　正
委員
福田　勝美
三浦　和一
桜井くるみ
権田　清志
千葉　義浩
出井　哲司

熊谷市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について

問 本事業は、こども家庭庁が進めているこども誰でも通園制度のことだと思うが、目的を伺いたい。

答 全ての子育て世帯に対する支援の強化を目的に、家庭とは異なる経験を通じて、子供の良好な生育環境を整備するものである。

問 子供を預けたい場合には、市を通して依頼するのか、保育園に直接依頼するのか伺いたい。

答 市に利用者としての登録をした後に、利用希望者は国が構築したシステムを用いて、直接保育園に予約をすることとなる。

（保育課）

工事請負契約の締結についての変更について（熊谷市子育て支援・保健拠点施設整備事業建設工事）

問 工事中に発見された地下埋設物の撤去等により、工事の遅れが発生しているということだが、工事期間の変更をしなくてよいのか。また、オープンには間に合うのか伺いたい。

答 工事期間については、現在の工期末である令和7年12月末を2カ月延長し、令和8年2月末とすることを検討しており、工期延長するためには、共通仮設費や現場管理費等が増額となるため費用の算出を行っているところである。また、施設の開業時期については、当初、余裕を持って準備期間を3カ月としていたが、これを1カ月に圧縮することで、予定どおり令和8年4月のオープンを見込んでいる。

（こども課）

令和7年度熊谷市一般会計補正予算（民生費・衛生費）について

問 低所得者等追加支援給付金給付事業については、住民税や所得税からの定額減税を最大限受けられない方への調整給付ということだが、給付額の6億5700万円は、何人分なのか伺いたい。

答 給付対象として2万2700人を想定している。

（福祉総務課）

問 児童育成支援拠点事業について、委託先の選定基準を伺いたい。

答 国の定める実施要綱等において、社会福祉士、保育士、精神保健福祉士等、有資格者の職員配置や施設設備に関する要件等が定められている。これらの要件を満たし、児童福祉に関する本市の実態を把握している事業者を委託先として選定する予定である。

（こども課）

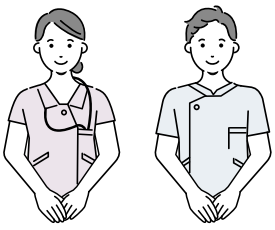
国に対し、「安全・安心の医療・介護の実現のため人材確保と処遇改善を求める意見書」の提出を求める請願について

【賛成討論】

医療や介護、保育も含めたケア労働者の生活をきちんと成り立たせるための施策がやはり必要だと思う。配置人数が本当に少なくて、いつもぎりぎりで職場を回している実態がこれらの職場ではある。新型コロナウイルス感染症のまん延の中で、誰が支えてきたかといえば、病院で働く人、学童保育や保育所、障害者の施設など、テレワーク等ができない職場の人たちが頑張って支えてきたと私は思っている。そのため、給料が安くて生活ができないとか、子育てができないなどの理由で辞めていくような実態をぜひなくしたいと思っている。

【意見】

このたびの請願に関して、安全・安心な医療・介護の実現のための人材確保と処遇改善を求めるという趣旨として採択をすることはどうか。そして、国に対して意見書を提出することについて、一つ目として、安全・安心な医療及び介護を実現するため、医療従事者及び介護職員の配置基準を見直すとともに、人材不足へのさらなる支援を講じるという趣旨。二つ目として、医療従事者及び介護職員の労働環境や処遇改善への財政支援を行うという趣旨。三つ目として、新興感染症に対応できる体制整備のため、保健所、医療機関、介護施設等への支援を強化するという趣旨として、提案したらどうか。



都市建設 常任委員会

委員長
石川　広己
副委員長
林　幸子
委員
富岡　信吾
山下　一男
新島　一英
中島　千尋
川田　勝巳

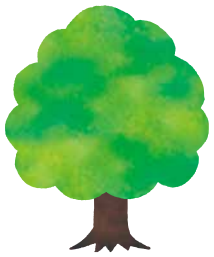
令和7年度熊谷市一般会計補正予算（土木費）について

問 みどりの基金積立事業について、昨年度の事業実績と今年度の事業計画を伺いたい。

答 令和5年度に、熊谷桜堤診断事業に活用しているが、令和6年度と令和7年度は活用していない。

問 熊谷桜堤診断事業で利用されたとのことであるが、クビアカツヤカミキリの駆除に関して、この基金を利用する予定はあるのか伺いたい。

答 現在、被害にあって枯れた木を伐採して植え替える作業を、年間12本から13本程度、計画的に行っている。桜に限らず老朽化した木が市内全域で発生しているので、今後、基金が活用できるか、現状を把握している最中である。
（公園緑地課）



令和7年度熊谷市下水道事業会計補正予算について

問 大規模下水道管路特別重点調査事業は、具体的にどのような調査を行うのか。また、外部委託をするのか伺いたい。

答 調査の方法は、全体的な巡視として、沈下、亀裂または陥没等のマンホール周辺の地表面の状況確認を行うほか、管路の施設調査として、管の中に入り潜行し、直接目視で確認して劣化や破損の状況確認を行っていく。また、この調査に関しては、外部に委託して実施する。

問 調査の時間帯などの住民への影響について伺いたい。

答 下水道排水量は、朝や夕方以降の時間帯が多い傾向であることから日中の調査を予定している。また、調査する際は、降雨が予想されない日中で、平戸中継ポンプ場の運転操作をして通常よりも水位を下げた上で実施するため、下水道利用者への影響はないと考えている。
（下水道課）

Pick up 永年勤続議員表彰

トピックス

全国市議会議長会および埼玉県市議会議長会から次の議員が永年の功績をたたえられ、表彰されました。

20年表彰

前列左から
福田　勝美 議員（2人目）
桜井くるみ 議員（3人目）

10年表彰

前列左から
小鮒　賢二 議員（1人目）・**石川　広己 議員**（4人目）
後列左から
権田　清志 議員・**小島　正泰 議員**・**腰塚菜穂子 議員**
千葉　義浩 議員・**影山　琢也 議員**

9月定例会日程

予定

9月

2日(火)本会議
- ・開会
- ・会期の決定
- ・諸報告
- ・市長の提案理由の説明
- ・議案説明等

5日(金)本会議
- ・議案に対する質疑
- ・委員会付託等

8日(月)・10日(水)委員会
- ・総務文教常任委員会
- ・環境産業常任委員会

9日(火)・11日(木)委員会
- ・市民福祉常任委員会
- ・都市建設常任委員会

12日(金)・16日(火)
17日(水)・18日(木) 本会議
- ・市政に関する一般質問

24日(水)本会議
- ・各委員長報告
- ・質疑～討論～採決
- ・閉会

※　本会議は傍聴できます。また、ウェブサイトでもご視聴いただけます。
※　委員会の傍聴をご希望の場合は、事前に議会事務局までお問い合わせください。
※　開会は原則午前10時です。
※　議事の進行上、休憩が入る場合があります。
※　日程は変更になる場合があります。詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

熊谷市議会事務局
☎ 048-524-1573（直通）
gikaijimukyoku@city.kumagaya.lg.jp

市議会インターネット中継をご覧ください

市議会では、本会議の模様をインターネットで中継しています。
本会議当日の生中継のほか、過去の録画放映もご覧いただくことができます。

熊谷市議会ホームページ内の市議会インターネット中継のページからご視聴いただくことができます。（※スマートフォンからもご覧いただくことができます。）

熊谷市議会　検索

今号の表紙

夏空の下、この葛和田渡船場を通って、「関東一のあばれ神輿」とも称される大杉様のお神輿が利根川に入っていきます。「西の出来島あばれ神輿」と共に、おみこしが川に浸かって人も乗る様は、大河と共に生きてきたまちならではのお祭りだなぁと、見るたびに感じるのです。

編集後記

江南の野原古墳から出土した「踊る埴輪」をご存じですか？手の格好が踊っているようでかわいいですね。よく見ると農作業で使うひもや鎌を腰に下げているので、農民だったようです。ちょっと背の低い方は男性で、両耳あたりで髪をひもで結んでいます。髪型を「美豆良（みずら）」というそうです。古墳時代は男性もおしゃれを楽しんだのでしょうか。しかし、ちょっと背が高い埴輪は飾りっ気がなく、これが女性だとすると悲しいなあと思ってしまいます。現代は、みんながおしゃれできていいですね。

「踊る埴輪」には江南文化財センターや押切橋南公園、野原八幡神社で会えますよ。

（桜井くるみ）

議会報編集委員会

◎小鮒　賢二　○川田　勝巳
福田　勝美　桜井くるみ
黒澤三千夫　林　幸子
影山　琢也　小林　國章
臼杵　健　小林　拓朗

（◎委員長　○副委員長）

「くまがや市議会だより第80号」は、72,000部作成し、印刷・製本にかかる市の負担は一部当たり15円です。